

記録映画 一語られなかった戦争・侵略パート5 ●関東初上映と講演

細菌戦部隊・731

今、元731部隊員たちが
重い口を開く

元731部隊員たちはカメラの前で語った。「マルタ」はどのように731部隊へ送られたのか、生体実験はどのように行われたか、そして細菌兵器がどのように実戦で使われたのか……

日本各地に、そして中国・韓国・シンガポールに、取材を続けて5年。旧日本軍細菌戦部隊の犯罪の全体像を、加害と被害の両面から、当事者たちの証言を通して明らかにする初のドキュメント。

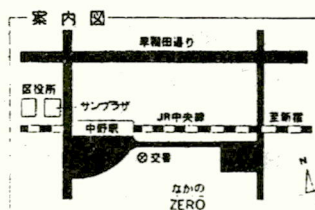


日時 12月23日(木) 午後1時 上映開始

場所 なかのZERO (旧中野文化センター2階)
中野駅南口下車徒歩7分

講師 森正孝さん『細菌戦部隊・731』監督

●参加費 500円(資料代)



主催 七三一部隊展中野実行委員会

〒164東京都中野区本町3-8-6 元山方
☎03-3373-2205

隠された細菌戦・人体実験

「七三一部隊展」中野開催にご賛同を！

★「七三一部隊」とは日中戦争の最中に中国黒龍江省の首都・ハルビンの郊外に設置された特殊部隊で表向きは「関東軍防疫給水部」と言っても実は恐るべき「細菌戦部隊」でした。十五年戦争で最も隠された闇の部分と言われ、生体から実戦用の炭疽菌、コレラ菌、ペスト菌など二十数種類におよぶ生物兵器（B兵器）を培養し、その生け贄にされたのは中国人、ロシア人、朝鮮人、モンゴル人などでした。そして鎖で繋がれたまま残酷非道な生体解剖と実験の材料にされました。その数男女合わせて三千人以上に上り、彼らを「丸太」と呼んで材木扱いにしたのです。また戦場で想像される凍傷実験、毒ガス実験、悪質な性病の感染実験が行われるなど、天皇の名による帝国医学界のその人体実験場では、「地獄の黙示録」が繰り返されたのです。

★日本軍は中国侵略戦争で言語に絶する酷いことをしました。しかし中国は本当に寛大でした。そのうえ一九七二年の国交正常化の際、五十二兆円といわれる対日戦争賠償の請求も放棄しました。（当時日本の国家予算は九兆四千萬円）まさにその頃「この中国」がなかったら今日の経済大国・日本はあり得なかったと言っても過言ではありません。政府は、私たちに「平和への歴史的な選択」を迫っています。ところがその選択、判断に必要な過去の真実が隠され、関係当事者は口を堅くつぐんでいます。だからと言って、私たちは知らなかった、ではすまされません。

★七三一部隊展を見た人は言います。「こんな事実を知らず、知らせず、ごまかし通そうとするのは日本人の将来のためにも、アジアの本当の平和のためにも大変危険なことです」と。私たちは「七三一部隊」の関係者はもちろん、その外、年齢的にもはや猶予できない加害者・被害者からの「歴史的な証言」も聴き、真に人道主義を共有する二十一世紀への平和の選択、そして憲法の擁護、近隣諸国との友好の大切さを訴えなければならないと思っています。「七三一部隊展」は全国各地を巡り成功裡の中で開催されていますがその最後とも考えられるものを、あなたのご提案、お力添えを得、特に護憲の自治体・中野区（九四年九月目標）で開き、湾岸戦争以来、今日の国内外の情勢のもとで実りあるものになりたいと考えます。

★財政的には、展示貸し出し料、会場費、通信印刷費など二百五十万円の経費をカンパおよび「開催協力券」によってまかなう計画です。なにとぞ、ご賛同のほどを心からお願い申し上げます。

一九九三年十二月二日

記

個人賛同カンパ 一口 二、〇〇〇円
団体賛同カンパ 一口 一〇、〇〇〇円

送金先 郵便振替 東京三十七七四八二
口座名 七三一部隊展中野実行委員会
連絡先 ☎・FAX 〇三―三三三三―二〇五

〒164 東京都中野区本町三―八―六 元山俊美

呼び掛け人	
堂園朝子	佐藤ひろこ 元山俊美 八鍬真佐子 増田博光
中沢広哉	国枝美香 米丸ミサ 横内 明 鈴木真一
大島ふさ子	木村勝昭 前田美那子 鹿島慶高
石橋直方	下記子 枝 光 小多基実夫

九三年十一月三十日現在 順小同

切り取り線

カンパ申込書

個人賛同カンパ 一口 二、〇〇〇円（ ）
団体賛同カンパ 一口 一〇、〇〇〇円（ ）

ご住所
お名前

一九九 年 月 日

取扱者氏名

（振替用紙ご利用の方は不要）